

# L型水路

●YT型水路(L1)

●L型水路(L2)

■布設歩掛り

(1日当り)

一個当り質量 (kg/個)	標準布設量 (個/日)	労働配置(人/日)			使用機械		接合材料 費率(%)
		世話役	特殊作業員	普通作業員	規格	(台/日)	
80超え 450以下	30	1.0	1.0	2.0	バックホウ	1.0	1.0
450超え 800以下	28	1.0	1.0	2.0	クローラ型	1.0	1.0
800超え1,100以下	26	1.0	1.0	2.5	山積0.83m <sup>3</sup> (平積0.60m <sup>3</sup> )	1.0	1.0
1,100超え1,500以下	24	1.0	1.0	2.5	2.9吊	1.0	1.0
1,500超え1,900以下	22	1.0	1.0	2.5		1.0	1.0
1,900超え2,200以下	21	1.0	1.0	3.0	ラフテレーン	1.0	1.0
2,200超え2,600以下	19	1.0	1.0	3.0	クレーン	1.0	1.0
2,600超え3,000以下	17	1.0	1.0	3.0	油圧伸縮	1.0	1.0
3,000超え3,400以下	16	1.0	1.0	3.5	ジブ型	1.0	1.0
3,400超え3,800以下	15	1.0	1.0	3.5	25t	1.0	1.0
3,800超え4,000以下	14	1.0	1.0	3.5		1.0	1.0
4,000超え4,500以下	13	1.0	1.0	5.0	ラフテレーン	1.0	1.0
4,500超え5,000以下	12	1.0	1.0	5.0	クレーン	1.0	1.0
5,000超え5,500以下	11	1.0	1.0	5.5	油圧伸縮	1.0	1.0
5,500超え6,000以下	11	1.0	1.0	5.5	ジブ型	1.0	1.0
6,000超え6,500以下	10	1.0	1.0	5.5	25t	1.0	1.0

- (注) 1. 据付に伴う材料の移動手間を含みます。  
 2. 接合にモルタルを使用する場合は、接合材料費として労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上願います。  
 なお、モルタル以外の接合材を使用する場合は、別途計上願います。  
 3. 敷モルタル及び敷モルタル以外の据付調整材を使用する場合は、材料費のみ別途計上願います。  
 4. バックホウ(クレーン機能付)及びラフテレーンクレーンは賃料とします。  
 5. [ ]は、平成25年度版 農林水産省 土地改良工事積算基準(土木工事)L形ブロックより引用し、その他は準拠しております。

## ドレーン対応(浮上がり防止対策)

- 地下水位が高い場合は浮力検討を行い、必要があればウィーブホール、アンダードレーンを設置して水路の浮き上がりを防止します。

